

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【公表番号】特表2016-533859(P2016-533859A)

【公表日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2016-062

【出願番号】特願2016-543969(P2016-543969)

【国際特許分類】

A 6 1 D	7/00	(2006.01)
A 6 1 M	5/19	(2006.01)
A 6 1 M	5/20	(2006.01)
A 6 1 M	5/30	(2006.01)
A 6 1 M	5/31	(2006.01)

【F I】

A 6 1 D	7/00	D
A 6 1 M	5/19	
A 6 1 M	5/20	5 6 0
A 6 1 M	5/30	5 0 0
A 6 1 M	5/31	5 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

多チャンバ型・多調合薬型デリバリシステムであって、  
多種類の調合薬を動物に投与するための多チャンバ型アプリケータと、  
前記アプリケータを流体包装手段に連結する充填導管と、  
前記多種類の調合薬を別々に収容すると共に貯蔵する多チャンバ型包装手段とを含み

、  
前記アプリケータは、

出口と、

少なくとも2つのバレルであって、各バレルは、

前記充填導管に着脱可能に取り付けられる入口と、

前記入口に隣接して位置し、かつ圧力を制限する手段に連結された一方向弁と、

前記バレルと密封係合関係をなして前記バレルに対して動くことができるピストン

と、

前記一方向弁と流体連通する小出し導管に連結されたバレル出口と、を有し、

前記アプリケータは更に、

前記出口を出る前に前記小出し導管からの流体の流れを合流させる小出し導管接合部と、

前記バレル内で前記ピストンを動かす作動手段を有する、システム。

【請求項2】

体積制御装置又は用量調節手段を更に有する、請求項1記載のシステム。

【請求項3】

前記一方向弁はディスクを有する、請求項 1 又は 2 記載のシステム。

【請求項 4】

前記ディスクはばねに連結されている、請求項 3 記載のシステム。

【請求項 5】

前記圧力を制限する手段は、

前記ばねに連結された力伝達コンポーネントと、

外側リング又はハブと、

クランプリング及び前記外側リング又はハブと係合するダイヤフラムと、を備える、請求項 4 記載のシステム。

【請求項 6】

前記多チャンバ型包装手段は、容器 / リザーバインターロックを用いて連結可能な 2 つのリザーバを有する、請求項 1 ~ 5 のうちいずれか一に記載のシステム。

【請求項 7】

アプリケータであって、

出口と、

少なくとも 2 つのバレルであって、各バレルは、

前記充填導管に着脱可能に取り付けられる入口と、

前記入口に隣接して位置し、かつ圧力を制限する手段に連結された一方向弁と、

前記バレルと密封係合関係をなして前記バレルに対して動くことができるピストンと、

前記一方向弁と流体連通する小出し導管に連結されたバレル出口と、を有し、

前記アプリケータは更に、

前記出口を出る前に前記小出し導管からの流体の流れを合流させる小出し導管接合部と、

前記バレル内で前記ピストンを動かす作動手段を有する、アプリケータ。

【請求項 8】

体積制御装置又は用量調節手段を更に有する、請求項 7 記載のアプリケータ。

【請求項 9】

前記一方向弁はディスクを有する、請求項 7 又は 8 記載のアプリケータ。

【請求項 10】

前記ディスクはばねに連結されている、請求項 9 記載のアプリケータ。

【請求項 11】

前記圧力を制限する手段は、

前記ばねに連結された力伝達コンポーネントと、

外側リング又はハブと、

クランプリング及び前記外側リング又はハブと係合するダイヤフラムと、を備える、請求項 10 記載のアプリケータ。

【請求項 12】

前記アプリケータは、導管によって多チャンバ型包装手段に連結される、請求項 7 ~ 11 のうちいずれか一に記載のアプリケータ。